

当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては、35%を上限として運用を行います。

スパークス・新・国際優良日本アジア株ファンド (愛称：日本アジア厳選投資) 投資で真に成功するための差別化ポートフォリオ

当ファンドは日本株を含んだアジア株式投資戦略という意味で「珍しいファンド」であり、非常にユニークで差別化されたポートフォリオとなっております。投資で真に成功するためには、下記イメージ図のような「正しい少数意見を持つ」ことが大切です。

私どもは、長年日本で培ったノウハウをアジア地域に活かし、ひとつの運用チームがグローバルな視点で日本を観察し、逆に日本の視点でアジア地域を観察することで、大きな投資機会が見出せると考えています。当ファンドが長期的に優れた投資リターンを実現し、将来「正しい少数意見」であったことが証明されるよう引き続き確信度の高い企業に投資して参ります。

▶ 「正しい少数意見」をもって投資に望む重要性

株式市場に参加する際には、「正しい少数意見」をもって投資に望むことが重要といえます。株式市場で多数派の意見は、すでに株価に織り込まれたものであり、そこで大きな利益を得るのは難しいためです。



大きなリターンは投資した段階で「少数派」であった自分たちの意見が、時間を経て「多数派」になる過程で生み出されるものです。



投資で真に成功したいのであれば、人と違うことをしなくてはなりません。
当ファンドは非常にユニークで差別化されたポートフォリオとなっております。

※上記は当ファンドの運用への理解を深めていただくためのイメージ図です。全てのケースに当てはまるものではなく、当ファンドの将来の結果をお約束するものではありません

出所：スパークス・アセット・マネジメント（2020年6月12日現在）

当資料は販売補助資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下、当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性や完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

▶ 代表的な組入銘柄の将来を想像してみよう！



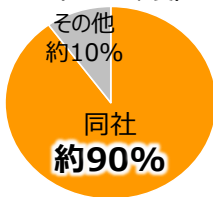
ニッポン・インドサリ・コーピンド（インドネシア）

PT Nippon Indosari Corpindo Tbk

インドネシアの焼菓子メーカー。インドネシアの最大財閥であるサリムグループと、「超熟のPasco」で知られる日本の敷島製パン、双日の合併企業。

圧倒的な市場シェア・米食からパン食へ変化するインドネシア

インドネシアの量販パン市場シェア
(2018年度)



既にブランドが
広く親しまれており、
圧倒的シェア！



日本の高度経済成長期で起きた
米食からパン食への食習慣の変化
が起きつつある！



同社経営陣



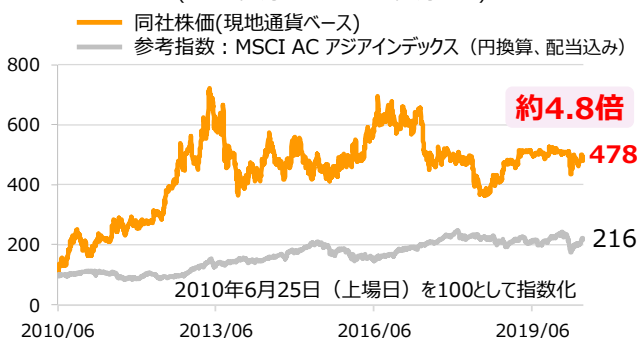
女性の社会進出
⇒準備に手間取らない
パンが好まれる！



インドネシアは白米が主食
⇒日本の敷島製パンの技術力を
得た同社のやわらかく、もちり感の
ある品質は高い人気！

市場規模100倍以上となるポテンシャル

株価推移（上場来）
(2010年6月25日～2020年6月12日)



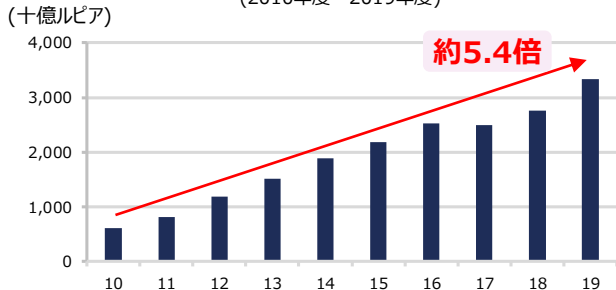
日本とインドネシアの一人当たり名目GDP・人口・量販パン市場
(日本：2017年度、インドネシア：2018年度 (GDPのみ2018年度比較))

	一人当たり 名目GDP	人口	パン市場	一人当たり パン市場
	約39,000ドル	約1.26億人	約1.5兆円	約12,000円
	約3,900ドル	約2.64億人	約250億円	約95円

両国の一人当たり名目GDPの違いを考慮しても
インドネシアのパン市場はまだ小さい！

インドネシアは日本の
約1/126の規模！

売上高推移
(2010年度～2019年度)



仮に現在の日本並みにインドネシアでパン市場が拡大すると・・・
250億円の126倍 = 約3兆円規模になる可能性！

将来インドネシアでパン市場が3兆円規模になると、市場シェア約9割の同社売上は今の100倍規模になる可能性も！

※ 上記は当ファンドへの理解を深めていただくためのご参考資料であり、特定の有価証券等を推奨しているものではありません。また、過去の実績等は将来の結果を保証、示唆するものではありません。

※ 記載された意見や予測などについては、資料作成時点での見解を示すものであり、今後予告なしに変更されることがあります。

※ 参考指数（MSCI AC アジアインデックス（円換算、配当込み））は当ファンドのベンチマークではありません。詳細については5頁をご覧ください。

出所： スパークス・アセット・マネジメント、FactSet Pacific Inc.、総務省統計局（2020年6月12日現在）

当資料は販売補助資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下、当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補完書面をお渡しますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性及完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なしに複製・複写することを禁じます。当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

▶ パフォーマンス推移

当ファンドは参考指数をアンダーパフォームしている状態が続いておりますが、引き続き個別銘柄を徹底的に調べ上げ、確信度の高い銘柄に集中・長期投資することからもたらされる運用力を受益者の皆様へリターンとしてお届けできるよう注意深く運用して参ります。

設定日前営業日（2018年10月30日=10,000）～2020年6月12日

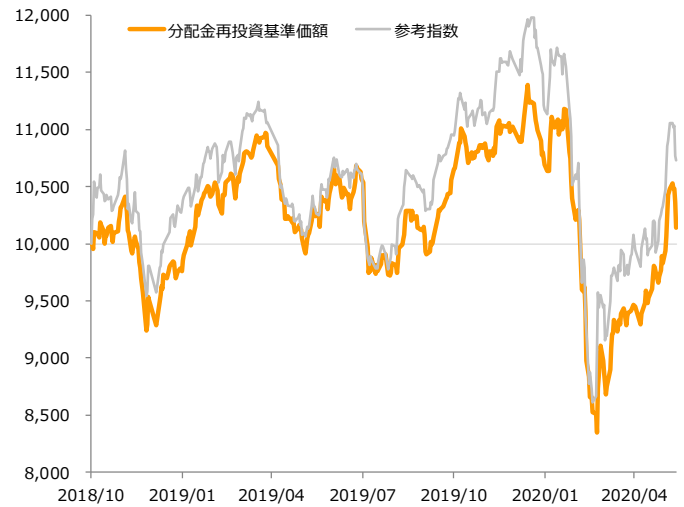
※ 当初設定日：2018年10月31日

※ 参考指数：MSCI AC アジアインデックス（円換算、配当込み）

基準価額/純資産総額/リターン・リスク（2020年6月12日現在）

基準価額（1万口当たり）	10,137 円
純資産総額	33.57 億円
運用期間	1年7か月

	ファンド	指数
設定来	1.37%	7.31%
年率リターン	0.84%	4.45%
年率リスク	15.57%	18.44%
シャープ・レシオ	0.05	0.24



※ 分配金再投資基準価額は信託報酬控除後のものであり、税引前の分配金を再投資したもとして計算したものです。

※ 基準価額は信託報酬控除後です。

※ 参考指数（MSCI AC アジアインデックス（円換算、配当込み））は当ファンドのベンチマークではありません。詳細については5頁をご覧ください。

※ 2018年10月30日（設定日前営業日）を10,000として指数化しています。

※ 年率リターンは計算期間におけるリターンを年率換算しています。年率リスクは計算期間における日次リターンの標準偏差（年率換算）です。

出所： FactSet Pacific Inc.、スパークス・アセット・マネジメント（2020年6月12日現在）

▶ 組入上位10銘柄（2020年5月末時点）

銘柄数：28銘柄（日本：16銘柄、アジア：12銘柄）

順位	銘柄名	国	業種	組入比率
1	ニッポン・インドサリ・コーピンド	インドネシア	食品・飲料・タバコ	13.7%
2	フィリピン・セブン・コーポレーション	フィリピン	食品・生活必需品小売り	12.3%
3	タイ・ビバレッジ	タイ	食品・飲料・タバコ	4.6%
4	テンセント・ホールディングス	中国	メディア・娯楽	4.6%
5	ソフトバンクグループ	日本	電気通信サービス	4.5%
6	シマノ	日本	耐久消費財・アパレル	4.4%
7	台湾セミコンダクター（TSMC）	台湾	半導体・半導体製造装置	4.2%
8	日本電産	日本	資本財	4.2%
9	キーエンス	日本	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.0%
10	アリババ・グループ・ホールディング	中国	小売	3.9%

※ 比率は当ファンドが投資するマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

※ 国名は、本社所在国等に基づいたスパークス・アセット・マネジメントによる分類です。

※ 業種は、世界産業分類基準（GICS）による分類です。

出所： スパークス・アセット・マネジメント

当資料は販売補助資料としてスパークス・アセット・マネジメント株式会社（以下、当社）が作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込を行う場合には、投資信託説明書（交付目論見書）および目論見書補充書面をお渡ししますので、必ずお受け取りの上詳細をご確認いただき、ご自身でご判断ください。当資料に記載の内容は将来の運用結果を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に含まれている過去の実績の数値および市場動向等についてのコメントは当資料作成時点のものであり、市場動向や個別銘柄の将来の動きを保証するものではありません。当資料の正確性及び完全性について当社が保証するものではありません。また記載内容は予告なく訂正が行われることがあります。当資料は目的によらず、当社の許可なく複製・複写することを禁じます。当ファンドに関する投資信託説明書（交付目論見書）のご請求、お問合せは販売会社まで。

主な投資リスク

当ファンドは、主としてマザーファンド受益証券への投資を通じて、内外の株式などの値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産に投資しますので為替の変動により、基準価額は変動します。従って、投資者の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆さまに帰属します。また、投資信託は預貯金と異なります。なお、ファンドが有する主なリスクは、以下の通りです。

価格変動リスク

当ファンドは、実質的に内外の株式などを主要な投資対象としますので、当ファンドへの投資には、株式投資にかかる価格変動等の様々なリスクが伴うことになります。当ファンドに組入れられる株式の価格は短期的または長期的に下落していく可能性があり、これらの価格変動または流動性に予想外の変動があった場合、重大な損失が生じる場合があります。

カントリーリスク

一般的に海外の株式などに投資する場合、投資対象国・地域の政治、経済、社会情勢の変化等により金融・証券市場が混乱して株式などの価格が大きく変動する可能性があり、基準価額が大きく下落する要因となります。また、新興国市場への投資は先進国への投資と比較して価格変動、流動性、為替変動、政治要因等のリスクが高いと考えられています。また、情報の開示などの基準が先進国とは異なることから投資判断に際して正確な情報を十分に確保できない場合があります。国有化、資産の収用、あるいは通貨の回金の制限等により、かかる国への投資はリスクを増大させることがあり、その結果、重大な損失が生じる場合があります。

為替変動リスク

外貨建資産への投資については、原則として為替ヘッジを行いませんので、投資対象国の通貨と日本円との間の為替変動の影響を受けます。外国為替相場の変動により投資を行う投資対象国の通貨建て資産の価格が変動し、これにより基準価額が変動し、損失を生じる場合があります。

集中投資のリスク

当ファンドは、分散投資を行う一般的な投資信託とは異なり、銘柄を絞り込んだ運用を行うため、市場動向にかかわらず基準価額の変動は非常に大きくなる可能性があります。

信用リスク

組入れられる株式や債券等の有価証券やコマーシャル・ペーパー等短期金融商品は、発行体に債務不履行が発生あるいは懸念される場合には価格が下がることがあり、また、投資資金を回収できなくなることがあります。なお、株式等の値動きに連動する債券については、債券の発行者に起因するリスクのほか、対象とする企業の株価の変動の影響を受けますので、対象とする企業が倒産や大幅な業績悪化に陥った場合には、当該債券の価値が大きく下落し、基準価額が大きく下落する要因となります。

当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

その他留意点

- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・収益分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。収益分配の支払いは、信託財産から行われます。従って純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。

リスクの管理体制

委託会社では、投資リスクを適切に管理するため、運用部門ではファンドの特性に沿ったリスク範囲内で運用を行うよう留意しています。また、運用部門から独立した管理担当部門によりモニタリング等のリスク管理を行っています。

基準価額の変動要因（投資リスク）は、上記に限定されるものではありません。上記は当ファンドの投資に係る様々なリスク、留意事項のうち、主なリスク、留意事項等について説明したものであり、全てのリスク、留意事項等を網羅したものではありません。

当ファンドに係る費用

投資者が直接的に負担する費用

購入時	購入時手数料	購入申込受付日の翌営業日の基準価額に3.3%（税抜3.0%）を上限として販売会社が定める手数料率を乗じて得た額とします。 ※詳しくは販売会社までお問い合わせください。
換金時	信託財産留保額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対して0.3%の率を乗じて得た額をご負担いただきます。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

毎日	運用管理費用 （信託報酬）	日々の信託財産の純資産総額に対して年率2.024%（税抜1.84%）を乗じて得た額とします。 [委託会社 年率1.10%(税抜1.00%)、販売会社 年率0.88%(税抜0.80%)、受託会社 年率0.044%(税抜0.04%)] 運用管理費用（信託報酬）は、ファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。
	監査費用 印刷費用	監査費用、印刷費用などの諸費用は、ファンドの純資産総額に対して年率0.11%（税抜0.10%）を上限とする額がファンドの計算期間を通じて毎日計上され、毎計算期間の最初の6ヶ月終了日および毎計算期末または信託終了の時に、信託財産から支払われます。
随時	その他費用・ 手数料	組入る有価証券の売買委託手数料、信託事務の諸費用、外貨建資産の保管費用、マザーファンドの換金に伴う信託財産留保額等は、その都度信託財産から支払われます。これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。

上記の費用、手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することができません。

※お申込の際には投資信託説明書（交付目論見書）をご確認下さい。

● 当ファンドの参考指数について

「MSCI AC アジアインデックス（円換算、配当込み）」は、MSCI Inc.が発表している MSCI AC Asia Index（米ドルベース）をもとに委託会社が円換算したものです。また、MSCI AC Asia Index に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は MSCI Inc.に帰属します。また MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI Inc.は、当ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。

ファンドの関係法人について

- 委託会社 スパークス・アセット・マネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第346号
 （加入協会）一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会 日本証券業協会
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会
 信託財産の運用指図、受益権の発行等を行います。
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社
 委託会社の指図に基づく信託財産の管理等を行います。なお、信託事務の一部につき日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社に委託を行います。
- 販売会社 下記一覧参照
 ファンドの受益権の募集・販売の取扱い、一部解約請求の受付、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いの取扱等を行います。

販売会社		登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本投資顧問業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
水戸証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第181号	○		○	
株式会社 S B I 証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○		○
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第164号	○	○		
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
スパークス・アセット・マネジメント株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第346号	○		○	○